

「Can-Do リスト」の形での学習到達目標設定に基づく外国語活動・英語科の取組(グランドデザイン)

GOAL 「使える英語」の定着を目指す

【教員】
授業改善
指導力向上

「英語を使って○○ができるようになる！」
教員と児童生徒による英語学習の目標の共有

【児童生徒】
学習意欲向上

取組の趣旨・目的

- 児童生徒が身に付ける能力の明確化
↓
教員の指導と評価改善
- 「～ができる」という能力記述文の形での設定
↓
4技能の総合的な育成
- コミュニケーション活動の充実
↓
思考力・判断力・表現力の育成

取組の効果

- 実際の言語使用場面で「言語を使って何ができるか」を見通した指導と評価を実現
 - ・教材の活用の仕方の工夫
 - ・コミュニケーション活動の工夫
- 教員と児童生徒間での学習目標の共有による児童生徒の自律的学習者としての態度と学習意欲の向上

「使える英語」の定着を目指す指導と評価の工夫

「Can-Do リスト」の形での学習目標設定及びそれに基づく取組の流れ

①卒業時の学習到達目標設定

- ・中学校卒業時の学習到達目標を、「言語を用いて『～することができる』」という形で設定

④単元ごとの指導と評価の計画への反映

- ・実際に行う学習活動を基に、各単元の目標及び評価規準を設定
- ・教科書を中心に、各時の学習指導を計画
- ・目標の達成状況把握のための具体的な評価の計画と単元計画への位置付け

⑤授業と評価の実践

- 「英語を用いて何をできるようにさせたいか」という観点から授業を工夫
- 「英語を用いて何ができるようになったか」という観点から評価を工夫

②学年ごとの学習到達目標設定

- ・卒業時の学習到達目標達成のための学年ごとの目標を「Can-Do リスト」の形で設定

③年間の指導と評価計画への反映

- ・「Can-Do リスト」の形で設定した学年ごとの学習到達目標を年間指導計画等に位置付け、各単元における目標、主な学習活動、評価方法等を計画

⑦学習到達目標の見直し(①に戻る)

⑥達成状況の把握